

1年生・進路講話

～進学指導重点校事業～

進路指導課

11月20日(月)7限・総合学習の時間に、「1年生進路講話」を行いました。富山大学・船橋伸一先生にお越しいただき、現代の大学を取り巻く環境や将来の生活を見据えた大学選びについて分かりやすく教えていただきました。感想の中にも、大学に対する考え方の変化や国公立大学に向けて頑張りたいという声が多く見られました。



【生徒の感想より】

・今と親の時代では、大学受験がいろいろ変わってきているということが分かりました。私は講話を聞いて、今まで自分は大学について何も知らなかったのだということが分かって、大学の知識が増えました。いろいろ知ることができたので、自分の将来を考えて、よく調べて大学を選んでいきたいと思いました。私は、講話を聞いて、国公立の大学に行きたいと思いました。自分の行きたい大学を目指してしっかりと勉強していきたいです。

・講話を聞いて、大学選びはとても大切だということや、例え国公立に落ちてしまったとしてもそれを目指すことが大事なのだということが分かりました。話の内容で知らないことがたくさんあって、とても勉強になったし、おもしろかったです。私もこれから文理選択があり、大学を絞らなければならないので、聞いたことをしっかり頭に入れて、大学を選びたいと思います。

・まだ、はっきりとした進路が決まっているわけではないけれど、今回この話を聞いて、できるだけ国公立に合格できるように勉強をしていこうと改めて思うことができました。話の中にもあったように、大学は自分にとっての良い変化を与える場所です。だからこそ、進路決定を大切にしていきたいし、今の自分の頑張りが、将来の自分にとっての力となるはずです。3年後、自分が良い進路を歩むことができるように、日々の生活を大切にこれから過ごしていきたいです。

・今日の講話を聞いて、自分のためになることが多かったと思いました。大学を決める時、両親とだけ相談するのではなく、今のことを知っている先生に相談することが大切だと思いました。また、国公立は無理だからと諦めるのではなく、そこに向けて努力したことが将来の役に立つことが分かったので、今のことを全力で粘り強く頑張っていきたいです。大学の合格率や就職率を見るときはそのまま鵜呑みにするのではなく、しっかり考えて決めたいです。大学選びはすごく難しいと思いました。